

安曇野市文化振興計画策定市民委員会 会議概要

- 1 協議会名 平成21年度第4回安曇野市文化振興計画策定市民委員会  
 2 日 時 平成22年2月26日 午後1時30分から午後3時まで  
 3 会 場 安曇野市穂高交流学習センター“みらい”地域学習室  
 4 出席者 笹本委員長、百瀬副委員長、三原委員、濱委員、小山委員、伊澤委員、三原委員、  
 矢ノ口委員、石田委員、細川委員、鈴木委員  
 5 市側出席者 丸山教育長、北條文化課課長、上條文化振興係長、那須野文化財保護係長、  
 財津文化振興係主査、三澤文化振興係主査、江崎  
 6 公開・非公開の別 公開  
 7 傍聴人 0人 記者 1人  
 8 会議概要作成年月日 平成22年3月9日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- 1 開 会 (北條課長)  
 2 挨 拶 (笹本委員長)  
 3 協 議  
 (1) 安曇野市文化振興計画の骨格について  
 (2) 安曇野市文化施策の諸問題について  
 (3) その他について  
 市民アンケート調査について  
 4 閉 会 (北條課長)

2 協議概要

(1) 安曇野市文化振興計画の骨格について

委員長・今日は、資料1の第3章・第4章を論議していきたいと思う。

具体的に言うと、第3章「安曇野の特徴的な文化」に【候補】として5つの枠を挙げているが、これを今日の議論で確定の方向に持っていきたい。安曇野市は文化と言っても他所とは違う、どこにでもある文化振興計画を作るのではなく、「安曇野らしさ」ということで、第3章は (1) 自然 (2) 歴史・伝統 (3) 人物 (4) 文化施設 (5) 芸術文化活動という組み方を考えた。

まず (1) の自然の中の「自然環境」は「環境と動植物」として考えたかどうか。動植物なので、天然記念物を加えた。次に「景観」の中に入れた「古民家、土蔵、道祖神」は「文化財」として捉えた方がいいのではないかと。それと、足りないのが「社寺」の景観、これは是非加えて欲しいと思う。

次に (2) の「歴史・伝統」は「文化財」と「郷土行事」のグループとしたが、この「文化財」の中に先程の「古民家、土蔵、道祖神」を加えたらどうかと思う。更に、「郷土行事」は、むしろ「祭事と芸能」位にして置いた方が、他とのつながりからいいのではないかと。皆さんから意見を出して頂いて、私達を取り上げるべき候補を決めていきたい。

まず、この大枠で進めていくことでよろしいでしょうか。

委員・・・賛成。

委員長・では、まず (1) 自然から考えていきたいと思う。

「自然環境」は「自然」という言葉がだぶるので省いて、「環境と動植物」にしてはどうか。中身だが、安曇野はまさに水の恵みで生きているということで、一番に水を持ってきて続いて動物、市の花、市の木、他にもたくさんある美しい木々の順でまとめてはどうか。私は、「かわせみ」も入れたらどうかと思う。

委員・・・今日は、まず一つの案として掲げて、それをこれから検討していくということでもいいのか。

委員長・最終的には、基本理念・基本方針を決め、基本構想、そして、主要施策としての枠組みを考えていかななくてはならない。まずは、大きな枠組みを決めて、私達が扱わなくてはならない物は何かという話しになってくる。その為には、安曇野の文化として何を残すべきなのか、何を特徴とするか、何を育てていくかという大きな箱を作りたい。そして、この箱の中身をより豊かに深めていくにはどうしたらいいかという流れで話しを進めていきたい。

それでは、続けて「景観」の中身はこれでいいか、ご意見を伺いたい。

古民家・土蔵・道祖神は景観だけれど、私は人の営みとしてもっと大きく、文化財として考えた方がいいのではないかと思うのだが、皆さんはどう思われるか。

委員・安曇野の「堰」は自然の中であって、まさに安曇野らしいものだと思うので、「景観」の中に入れたらどうか。

委員・横堰も特徴として入れて欲しい。

委員長・山岳風景、堰、田園風景、屋敷林という流れで堰を入れれば、他所とは違う「景観」という面を出せると思う。

委員・「自然」の枠の中に人工の堰を入れるのは如何なものか。

委員長・里山は、人間が作り出した物。自然と人間が協働しながらできているのが安曇野の自然であって、安曇野の自然は原野ではない。人間の営みの中でできていると思うので、私は「景観」の中に入れたらと思う。

委員・「自然環境」を「環境と動植物」に変えたのだから「堰」を入れてもいいと思う。古民家や土蔵も人工だが含まれている。

委員長・先程も申し上げたが、古民家・土蔵・道祖神は、「文化財」の中に入れたらどうかと思う。「文化財」は、指定された物だけではなく一般的な物をもっと入れていきたい。道祖神は、全てが安曇野の芸術で、こんな身近な所にも文化財があるということ、大勢の人に知って貰いたい。そうすると、「景観」の箱の中身が少なくなってしまうので、ここに「堰」を入れ、更に「社寺」には立派な森があるので、この「景観」の箱の中に入れたらどうかと思う。また、「景観」の中に入れた山岳風景に通じる物として、川も入れてはどうかと思うが、「環境と動植物」の中に水を取り上げているので、箱の中身の兼ね合いを見て考えていきたいと思うが、この方向で進めてよろしいでしょうか。

委員・賛成。

委員長・次に、「歴史・伝統」に進みたいが、「歴史・民族」という言い方が広い意味になると思うが、いかがでしょうか。

委員・「歴史・民族」の方が一般的だと思うので、いいと思う。

委員長・では、「歴史・民族」ということにさせていただきます。次に「文化財」の中身について意見を頂きたい。この箱の中には、重要文化財・光久寺木造日光・月光菩薩像・史跡・古墳群、そして「景観」の箱に入れていた古民家・土蔵・道祖神を挙げているが、ご意見を頂きたい。

委員・この箱の中には、書ききれない位多くの物が入ると思う。

委員長・書ききれない位たくさんの誇れる物があるというのは、素晴らしいこと。必ずしも重要文化財だから大事だということではなく、歴史と伝統の中で私達は生きているということを知らしめる箱である。そして、国が認めるような素晴らしい物もあれば、私達があまり着目しないけれど足元にも、こんなに素晴らしい物があることを伝えるのが、この箱だと思う。この箱には、安曇野市のホームページに掲載されている様な美しい写真をたくさん入れたい。そして、皆さんの家にある土蔵も立派な文化財だというメッセージを込められたらいいと考えるが、いかがでしょうか。

委員・賛成。

委員長・では、次に「郷土行事」に進みたい。これは、「祭事と芸能」ということで考えた方が広い意味で考えられるかもしれない。箱の中身は、穂高神社のお船祭り・三郷の道祖神祭り・三九郎・福俵を挙げているが、いかがでしょうか。

委員・三郷の道祖神祭りということで挙がっているが、各地で道祖神祭りはあるので、三郷は省いた方がいいのではないか。

- 委員長・確かにあちこちで道祖神祭りは行なわれていると思うが、三郷の道祖神祭りは県の指定を受けていて、お正月に綺麗な飾りつけをした御柱が建てられる。この御柱の一番上の笹には丸いものをつけられるが、これは「宇宙」を表し、二番目の飾りが「日と月」を表し、一番下の花飾りが「集落」を表していると聞いて感動した。一般的な「道祖神祭り」も入れて、箱を完成させたいと思う。それと、「三九郎」も地域によっては、鳥追いをするとところもあり是非箱の中に入れてほしいと思うが、いかがでしょうか。
- 委員・御柱を建てるところは、あちこちある。県の指定というのが、どういう意味があるのか分からない。
- 事務局・三郷の道祖神祭りについて、事務局から説明をさせて頂く。  
北小倉の御柱、上長尾の道祖神祭り、楡・住吉の道祖神祭りが一つとなって、県の指定文化財となっている。特徴としては、子供達に委ねられているということ。飾りについても、子供達が作り御柱を建てる時だけ大人が手伝っている。鳥追い、道祖神の舞台曳きも子供達が先頭に立って行なうという、子供への依存が大きいことと、道祖神が他地区を渡御するという位置づけが面白いということが、指定を受けている理由である。  
この箱には、代表的なお祭りということで挙げさせて頂いた。
- 委員長・文化財というのは、「これは大事ではないか」と訴えない限り指定を受けることは出来ない。三郷の場合は、自分達のお祭りが素晴らしいことを認識して、活動したと思う。私達は、安曇野市にはいかに素晴らしい文化があるかということも認識して、それを基にしてよりよい未来を作っていくということで、文化振興計画の策定を進めている。三郷は、道祖神祭りを自分達の大切な文化として認識したということだと思ふ。
- 委員・子供に委ねられているということだが、昔はどこでもそうだった。子供だけでは担いきれなくなっていて、大人が先頭に立ちながらも子供に言葉掛けしながら行なっている所が多いと思う。三郷という地名が出てくるのは、いかがなものか。
- 委員長・「文化財」の中にも固有名詞が出てくる訳で、それと同様と考えて頂ければいいと思う。他地域の物も「伝統的な道祖神祭り」ということで、箱に入れてもいいと思う。ただ、「三郷の道祖神祭り」が県の指定を受けていることを市民の皆さんに知って貰うことも大事だと思うので、そちらも入れたらどうかと思うが。
- 委員・文化財の指定を受けるには、地域で県に申請を出して県の査定を受けて、そこで認められて初めて認可される。その基準として、文化を継承していく組織があるということ、これがとても重要になってくる。「三郷の道祖神祭り」の場合、継承していくきちんとした組織があるということ、県の指定を受けている訳だからやはり、他の地域の道祖神祭りとは違うのではないかな。
- 委員・他の地域にもあるお祭りなのだから、三郷という地名を出さずに「御柱」「道祖神祭り」といった分け方にした方がいいのではないかな。申請を出せば指定されるということなら。
- 委員長・申請を出せば認可になるというのではなく、県の審議委員会が協議、査定をして初めて指定されるので、「三郷」という地名がつくことは、とても意味のあることだと思ふ。「三郷の道祖神祭り」と「地域に残る伝統的な道祖神祭り」という分け方をしているのではないかなと思ふ。「三郷の道祖神祭り」が、県の指定を受けていることを多くの方に知って貰い、更に自分の地域の道祖神祭りも大事だという認識をして頂く箱にしたい。
- 委員・「三郷の道祖神祭り」が、県の指定を受けていることを明記すればいいと思う。そして、この箱には地域の神社、寺社のお祭りを入れたらどうかと思う。お祭りの発展は、部落の発展へと繋がっている。
- 委員長・古くから伝わる踊りがあれば、加えればいいと思う。
- 事務局・県の指定文化財は、「穂高神社の御船祭り」と「三郷の道祖神祭り」の二つのみなので、代表的な祭りということで挙げさせて頂いて貰っているので、ご理解頂きたい。
- 委員・各地域にあるお祭りを、お互いに知り合い、広めていくことが大事。

委員長・この箱の書き方としては、「御船祭り」「道祖神祭り」という大きな括りの中に、「穂高神社の御船祭り」「三郷の道祖神祭り」があるという示し方をするとすることにさせて頂く。

では、次に「人物」の箱の中身について、ご意見を出して頂きたい。

ここでは「萩原礫山」「相馬愛蔵・黒光」「井口喜源治」「松沢求策」「清沢冽

「多田加助」「藤森桂谷」「臼井吉見」を挙げているが、私は、「臥雲辰致」も入れた方がいいかと思う。私達は既に、安曇野市で大きな功績を残した100人の肖像を確認しているので、参考にしながら中身を考えていきたいと思う。また、「名誉市民」の箱の中身として、「田淵行男」「熊井啓」「高橋節郎」「青木祥二郎」を取り上げているが、よろしいでしょうか。

委員・賛成。

委員長・次の「文化施設」は、「美術館、博物館」ということで5館、「類似施設」ということで3館を挙げているが、よろしいでしょうか。

委員・賛成。

委員長・それでは、「芸術文化活動」の枠の中の「市民活動」の箱の中身、「イベント」の中身は、いかがでしょうか。

委員・「イベント」として4つ並んでいるが、文化振興計画に載せるということは、公のイベントとして市が認めているものなのか。市が関わっているからなのか。

事務局・「安曇野フェスタ」「信州安曇野薪能」「信州安曇野わさび祭り」「あづみの公園早春賦音楽祭」の4つのイベントは実行委員会が主催となっていて、もちろん市も関わっている。代表的なイベントとして挙げさせて貰った。

委員長・このイベントについても、まだこんなものがあるということなら、足していけばいいと思う。

委員・全体を通して出てこなかったのをお聞きしたいが、衣・食に関しては取り上げないのか。

委員長・もし入れるとしたら「歴史・民族」の箱の中になると思うが、安曇野市で「衣」として取り上げるものはあるのか。

委員・天蚕センターがあり、「天蚕織り」というものがある。これは、安曇野市独自のものだと思う。

委員長・「天蚕織り」ということになると、むしろ「文化財」に入れた方がいいかもしれない。

委員・天蚕は各地にあるけれど、市もバックアップしていて、NPO活動として発展していきたいと新聞で読んだ。観光のポイントにもなると思う。

委員長・では、「食」に関して取り上げるものはあるか。

委員・年取りの魚（鱒）を取り上げて、「祭事と芸能」の箱に入れたらどうか。

委員・天蚕は、「環境と動植物」の中に入るのではないか。

委員長・天蚕は、どこにでもあるが「天蚕織り」は安曇野ならではの物ということなので「文化財」の箱の中に入るのではないか。

委員・天蚕は、あくまでも天蚕織りを広めたくて飼育している訳だから、「文化財」の中に入れていいと思う。

委員長・では、皆さんの意見をまとめて

①自然 「環境と動植物」「景観」

②歴史 「指定文化財」「一般文化財」

③民族 「祭事と芸能」「衣・食・住」この中に天蚕や年取りの魚や方言を入れる。

④人物 「先人」「名誉市民」

⑤文化施設 「美術館・博物館」「類似施設」

⑥芸術文化活動「市民活動」「イベント」という6つの箱を作って進めていきたいと思う。

委員長・次に第4章の施策の大綱に話しを進めたいと思う。第3章の安曇野市の特徴的な文化が現状を認識する章だとすると、第4章はこれから具体的にどうしていくかという部分になると思う。

まず、ご説明したい。この章は、

第1節「残したい安曇野の文化」

第2章「伝えたい安曇野の文化」

第3章「見せたい安曇野の文化」

第4章「守りたい安曇野の文化」は「保持したい安曇野の文化」としたい。

第5章「創造する安曇野の文化」は「育てたい安曇野の文化」としたい。

また、第2節「伝えたい安曇野の文化」の中にある・地域学習「安曇野学」は、第5節に持ってきた方がいいのではないかと。

第1, 2, 3, 4章は全て第5章の「育てたい安曇野の文化」に連動してくると思う。

第5節は、中身がどんどん増えていくと思う。よりよいものにしていくにはどうすればいいか、皆さんのご意見をお聞きしたい。

委員・・・わかりやすく、ユニークでいい展開をしていると思う。

委員・・・参考までに、ブランドデザイン会議の中に「屋敷林」と「百選」というチームがあり、写真や資料等持っている。是非、連携して進めて欲しい。

委員長・それでは、大きな枠組みとしては、このように進めてよろしいでしょうか。

委員・・・賛成。

(2)安曇野市文化施策の諸問題について 資料3参照

委員長・では次に資料3についてだが、これは事務局よりお願いしたい。

事務局・前回の委員会の中で、博物館・郷土資料館の資料については、一つにまとめていくという方向性を頂いた。資料3は、そのことに対して、より具体的な意見をまとめたものなので、ご覧頂きたい。

委員長・この資料3は、こういう意見があることを認識して頂き、更に足繁く美術館・郷土博物館に通って頂き、検討していく上での参考にして頂きたい。また、事務局には、委員がいつでも美術館・郷土博物館を見ることが出来るよう、ご配慮頂きたい。

委員・・・方向性として一つにまとめていこうということだが、一つにまとめることだけに先行してはならないと思う。やはり、地域ごとの特色のある美術館・博物館も、大切である。

委員長・「オール安曇野」を目的とするのか。その先のデザインをどうするかに関して。これは、今後具体的に論議していきたい。

(3)その他について 資料4参照

委員長・それでは、最後に安曇野市文化振興計画策定のための市民アンケートについて、この内容で市民に送付していかどうか、ご意見を頂きたい。

事務局・前回、委員の皆さんから頂いた意見を基に、手直ししたものを、資料4として配布させて頂いた。3月中には市民の皆さんに配布させて頂き、ご意見を賜りたいと思っている。ご検討、お願いしたい。

委員・・・アンケートの中の「その他」の欄がとても大事だと思うので、少しスペースを広くとって欲しい。

委員長・内容については、これで決定でよろしいでしょうか。

委員・・・賛成。

委員長より、専門委員の方の説明

事務局・今日頂いたご意見を再度整理して、資料1と2を送付させて頂く。更に、市民アンケートの結果を踏まえて、来年度は施策の中身、具体的な議論をしていきたいので、ご協力お願いしたい。

以上